

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38307	
事業名	障がい者等災害対策用品購入助成費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	木下 健二	担当者名	遠藤 ひかり	電話番号	011-211-2936	
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	障がい者等が、災害時にも身体機能の維持に必要な不可欠な医療器具の使用を継続するため。				
		長期	障がい者等が、災害時にも身体機能の維持に必要な不可欠な医療器具の使用を継続するため。				
	取組内容	人工呼吸器や酸素濃縮器などを使用する在宅の障がい者等に対し、非常用電源装置等の購入に係る費用の全部又は一部について助成する。					
	実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正弦波インバーター発電機:25件</li> <li>・ポータブル電源:38件</li> <li>・DC/ACインバーター:0件</li> </ul>					
事業実施における工夫点	制度が周知されるよう、広報等を行う。						
対象者	人工呼吸器等を使用する在宅の障がい者等			開始	平成31年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市障がい者等災害対策用品給付事業実施要綱						
他都市の状況	千葉市、横浜市、川崎市、静岡市、浜松市、神戸市、広島市において発電機の助成を実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	8,764	16,192	4,816	16,131
うち特定財源	0	16,192	4,816	16,131
人工	0.2	0.2	0.0	0.2
人件費	1,440	1,440	0	1,440
計(事業費+人件費)	10,204	17,632	4,816	17,571
事業費の内訳	令和3年度決算	63件/4,815,816円		
	令和4年度予算	210件/16,131,000円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	助成した人数の累計			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	116	210	63	210	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	在宅で生活する障がい者等が、災害時にも身体機能の維持に必要な不可欠な医療器具の使用を継続するため、非常用電源購入費の助成を実施できている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	助成対象者については、身体障害者手帳を所持している以外の要件も設けており、手帳を所持していない用品が必要な方に対しても助成が出来る。また、助成目・助成額については、市中製品の流通状況を踏まえると適切であると捉えている。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	自己負担額の支払い方法については事業者による代理受領も認めており、対象者に負担の少ない形で実施出来ている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	障がいのある方に対する被災時のリスク低減に繋がっており、地域防災への意識の向上及び安心して暮らせる社会の実現へ寄与出来ている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	当初の想定よりも助成件数が伸びていないため、事業継続するとともに、周知方法を工夫する等、助成が必要な方に対し助成が出来るよう務める。令和4年度については関係機関及び対象者への周知を実施予定である。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし。		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	継続して助成が実施出来ており、事業開始後大きな問題点等なく事業継続が出来ているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 助成を継続して行うとともに、関係団体等へ協力依頼をし広報を行い制度の周知に努める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 予算規模を維持し、制度の継続に取り組む。		見直し効果額	0 千円